

令和 8 年度麦類情報 第 1 号

令和 8 年 5 月 12 日 発行

福島県会津農林事務所喜多方農業普及所

栽培のポイント○湿害対策 ○追肥 ○赤かび防除

1 湿害対策

- ・ ほ場が過湿だと 赤かび病などの病害が発生しやすくなるため、ほ場内に停滞水がないよう速やかに排水口へ水が流れるように排水対策を実施しましょう。



図 1 排水口への水路

2 出穂期の追肥（実肥）

- ・ 土壌が乾燥した状態では効果が効きにくいため、ある程度土壌に水分がある状態で窒素追肥を行い、子実タンパク質含量を確保しましょう。

表 1 出穂期の追肥時期と施肥量について

	追肥時期 (出穂期)	施肥量 (N/10a)	主な肥料の例
小麦 「夏黄金」	5 月上旬	6 kg/10a	硫安（大粒）（N 成分 21％）：施肥量 28 kg/10a 尿 素 （ N 成 分 46 ％ ）：施肥量 13 kg/10a
小麦 「ゆきちから」	5 月上旬	3 kg/10a	硫安（大粒）（N 成分 21％）：施肥量 14 kg/10a 尿 素 （ N 成 分 46 ％ ）：施肥量 7 kg/10a
大麦 「小春二条」	粗タンパク含量の増加に伴い研削性等などの加工適性が低下することから、基本的に出穂期追肥は行わない。		

3 赤かび病防除

- ・ 赤かび病の被害粒混入率の基準（麦 1 万粒に被害粒が 5 粒以上混入）を超えた麦類は流通できず、生産者で廃棄処分する必要があるため、2 回防除を徹底しましょう。
- ・ 1 回目防除時期：ほ場全体で 5 ～ 10％の穂が開花した「開花始め※」
2 回目防除時期：1 回目防除の 7 ～ 10 日後
※「開花始め」：小麦は出穂期から 7 ～ 10 日後、大麦は出穂期から 5 ～ 7 日後頃です。
- ・ 薬物耐性菌の出現を防ぐため 1 回目と 2 回目で異なる薬剤系統の農薬を使用してください。

表 2 赤かび病防除に有効な薬剤例

薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
トップジン M 水和剤	1, 000 ～ 1, 500 倍	収穫 14 日前まで	3 回以内（但し、出穂期以降は 2 回以内）
シルバキュアフロアブル	2, 000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内
ミラビスフロアブル	1, 500 ～ 2, 000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内

春の農作業安全運動推進期間：令和 8 年 3 月 1 日～5 月 31 日
こまめな休憩を取り、安全・安心な農作業に努めましょう！

○本情報の内容や麦類に関するお問い合わせはこちらへどうぞ。
会津農林事務所喜多方農業普及所 TEL：0241-24-5743